

生命化学科

教職コースの受講許可を受けた学生は p.68 ~ 70 の「履修案内」を見ること

カリキュラムの特徴

1 生命化学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目（講義・実験・演習・研究）

生命化学科で学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。

選択科目

各自の必要に応じて履修する科目

（生物資源学科科目群・生物環境システム学科科目群・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属（教職コースを除く）

生命化学科には、「生物化学領域」「食品機能化学領域」「細胞制御化学領域」「環境化学領域」の4領域があります。第6セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、第7セメスターから各領域で卒業研究を開始します（配属後に領域を変更することはできません）。

- (1) 第6セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
- (2) 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- (3) 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第5セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。

卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み8単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から6単位以上を含み、合計20単位以上を修得していること
- ③ 生命化学科科目群の必修講義科目36単位を修得していること
- ④ 生命化学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目（「卒業研究」を除く）16単位を修得していること
- ⑤ 「卒業研究」4単位を修得していること
- ⑥ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑦ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

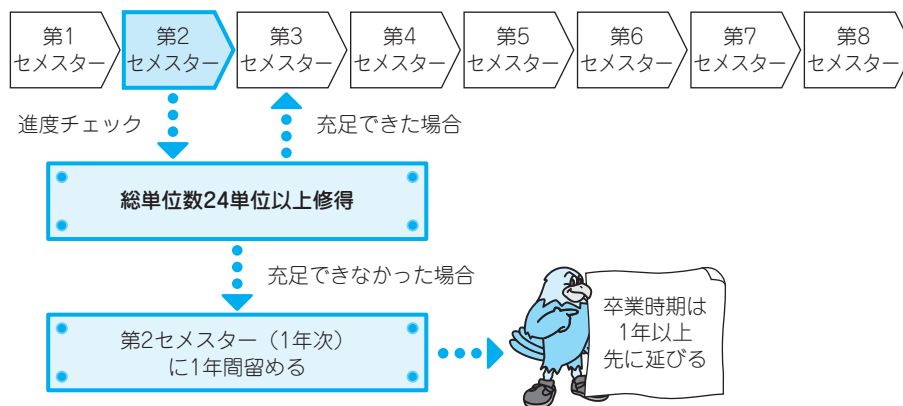
卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生命化学科の場合その内訳は次のとおりです。

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	8単位
人文科学科目群	4単位以上
社会科学科目群	4単位以上
自然科学科目群	4単位以上
学際科目群	2単位以上
言語表現科目群	6単位以上
生命化学科必修科目	56単位
必修講義科目	36単位
必修実験・実習・演習・研究科目	20単位（卒業研究を含む）
選択科目	任意
生命化学科選択科目	
他学部・他学科開講科目	
教職関連科目	
ユニバーシティ・スタンダード科目	
他大学との単位互換科目	
計	124単位以上

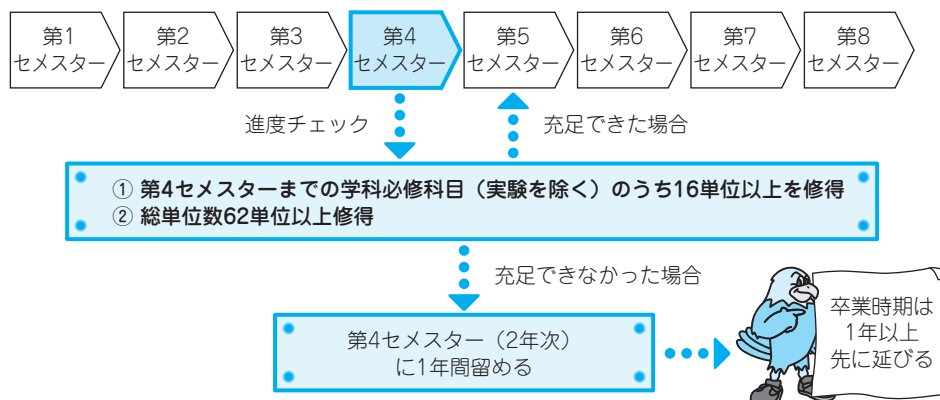
進捗チェック

第2 Semester、第4 Semesterおよび第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、確認時の Semesterに1年間留まります。

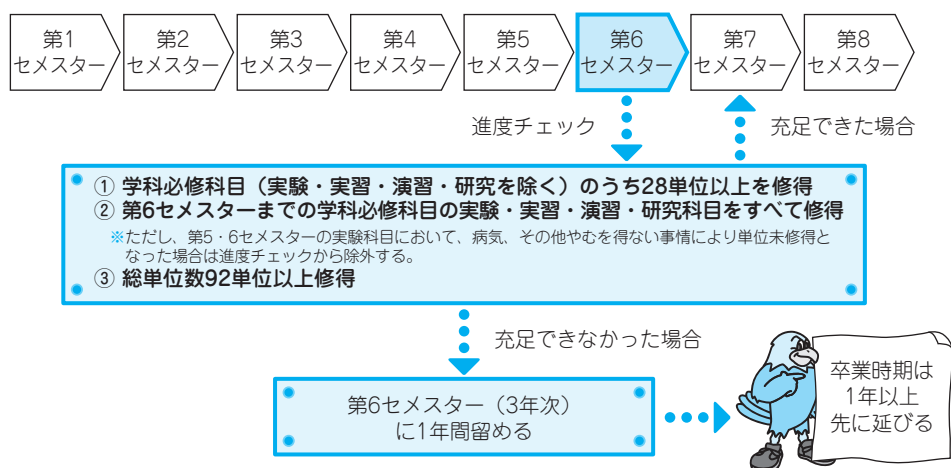
1 第2 Semester（1年次）終了時における進捗チェック



2 第4 Semester（2年次）終了時における進捗チェック




3 第6セメスター（3年次）終了時における進捗チェック



履修上の留意事項

- ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。
「生物学入門」「化学入門」
- C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.33を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたいうえて、適切に手続きを行ってください。
ただし、農学部各学科が開講する実験・実習・研究科目（演習科目を除く）、インターンシップ科目は、再履修制度の対象に含みません。
- 「卒業研究」は、第7セメスター・第8セメスターともに必ず履修登録してください。
- 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、掲示を十分確認してください。
- 教職関連科目群の科目は、農学部教職コースの受講許可を受けた学生だけが履修することができます。

 農学部教職コース履修案内
p. 68 ~ 70